

音楽グループ研究会

グループ員：鈴木 恵子（昆陽里小学校） 佐伯 絢菜（瑞穂小学校）
大倉 里美（伊丹小学校） 宮脇 一三（有岡小学校）
山本 泰子（稲野小学校） 高木 美穂（花里小学校）
田中 真由美（南小学校） 東馬場 麻衣（摂陽小学校）
福山 純子（神津小学校） 中田 理恵子（鈴原小学校）
花谷 佳子（桜台小学校） 山下 雅代（池尻小学校）
山田 裕子（天神川小学校）

担当指導主事 増田 朋之

キーワード：ICTの活用・器楽の練習・新指導要領

1 研究テーマ

「新しい音楽授業の工夫（DTM・ICTの活用を含む）」

2 研究内容

(1) 心響き合う音楽活動の工夫

- ① 音楽会に向けて、選曲、オーディション、楽器の練習方法等について
- ② 特別な支援の必要な児童について、各校で音楽授業や音楽会の練習の時に、どのような配慮をしているかについて

(2) ICTの活用

- ① 電子黒板を書画カメラ、パソコンと接続し、音楽の授業に活用する方法について
- ② パワーポイントの基本的な使い方や、音楽の授業や音楽会で活用する方法について
- ③ ブルートゥースについて、音源とスピーカーをペアリングする方法や音楽の授業での活用法について



3 成果と課題

(1) 成果

- ① 各校ごとに実践していることや、日頃の悩みや疑問を交流することによって、日々の授業に活かすことができた。
- ② パソコンやオーディオ機器を、授業のなかに上手に取り入れる方法を話し合い、それぞれの学校で活用することにつながった。

(2) 課題

- ① 今年度電子黒板が音楽室に配置された学校が増えたが、まだ配置されていない学校もあり、学校によってICT環境に差がある。
- ② コンピューター上に膨大な情報があふれる現代、上手に授業に取り入れることで、子どもの興味をひき知識を深めることができると思われるが、それを使いこなすためには、こちらも情報交換し、より研修を深める必要がある。